

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 畜産技術センター
<b>要望問題名</b> 未利用資源の飼料化	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 畜産技術センター企画研究課では、以前からリキッド飼料、豆腐粕、パンくずやコーヒー豆粕等未利用資源の飼料化の試験研究に取り組んで成果を出しており、現在はマグロの加工残さに取り組んでいる。 今後も豚や肉用鶏の飼料として利用できる新たな未利用資源を発掘し、肥育成績等生産性について検討するとともに、利用する未利用資源によって畜産物の機能性や品質がどのように変化するかを、官能試験もあわせて実施願いたい。	
<b>解決希望年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	畜産技術センター	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	地域資源を活用した鶏卵・鶏肉の生産方法の検討 (H19～30) 地域資源を活用した豚肉の生産方法の検討 (H23～30)		
<b>対応の内容等</b>	未利用資源の飼料化については、ご要望に記載されているとおり試験を実施しているところです。 平成28年度は、肥育豚ではマグロの加工残さ飼料による機能性を有する豚肉の生産について、肉用鶏ではリサイクル飼料給与による生産性や肉質に与える影響について、官能評価も併せて検討しています。 平成29年度は日本酒製造残さなどの地域資源について検討する予定です。 今後も新たな未利用資源について情報収集につとめ、飼料化につなげるよう取り組んで参ります。		
<b>解決予定年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
<b>備考</b>			